



株式会社ワッツ

(2735 東京証券取引所スタンダード市場)

2024年8月期第2四半期決算と 通期計画の進捗状況について

2024年4月12日（金）

代表取締役社長 平岡 史生

目次



決算概要

2024年8月期の
2 Q連結決算について P2 – P6

事業別

2024年8月期 2 Qにおける
各事業の状況について P8 – P14

事業計画

2024年8月期業績予想と
各事業の取組みについて P16 – P24

参考資料

ワッツグループについて P26 – P32



(単位：百万円)

業績ハイライト	2023年8月期 第2四半期		2024年8月期 第2四半期（当期）			
		構成比		構成比	前期比	計画比
売上高	29,550	—	30,255	—	102.4%	101.8%
売上総利益	11,169	37.8%	11,629	38.4%	104.1%	—
販売費及び一般管理費	10,897	36.9%	10,886	36.0%	99.9%	—
EBITDA	635	2.1%	1,096	3.6%	172.6%	—
営業利益	271	0.9%	743	2.5%	273.4%	309.8%
経常利益	270	0.9%	749	2.5%	276.6%	394.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	292	1.0%	436	1.4%	149.2%	363.5%
1株当たり四半期純利益（円）	21.53		32.90		152.8%	—

- ✓ **売上高**は、主に100円ショップ事業が堅調に推移し、前年同期比**2.4%増**、計画比101.8% ➡P3,9
- ✓ 売上高雑貨構成比や100円以外の商品の売上高比率上昇による原価率低減効果により、**売上総利益率**は**0.6%上昇**。不採算店舗の閉鎖によるコストダウン等も加わり、**営業利益**は前期比**273.4%** ➡P4,5
- ✓ **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、前年同期に当社連結子会社間の組織再編に伴う法人税等調整額（益）を計上していたことから、前期比**149.2%**



(単位：百万円)

事業部門別売上高		2023年8月期 第2四半期		2024年8月期 第2四半期（当期）		
			構成比		構成比	前期比
100円ショップ	直営	26,377	89.3%	27,254	90.1%	103.3%
	卸その他	1,017	3.4%	938	3.1%	92.2%
	小計	27,394	92.7%	28,192	93.2%	102.9%
海外事業	直営	128	0.4%	76	0.3%	59.6%
	卸	518	1.8%	395	1.3%	76.2%
	小計	647	2.2%	471	1.6%	72.9%
国内 その他業態	ブオーナ・ビータ	1,508	5.1%	1,591	5.3%	105.5%
	リアル					
	ときのね 他					
合 計		29,550	100.0%	30,255	100.0%	102.4%

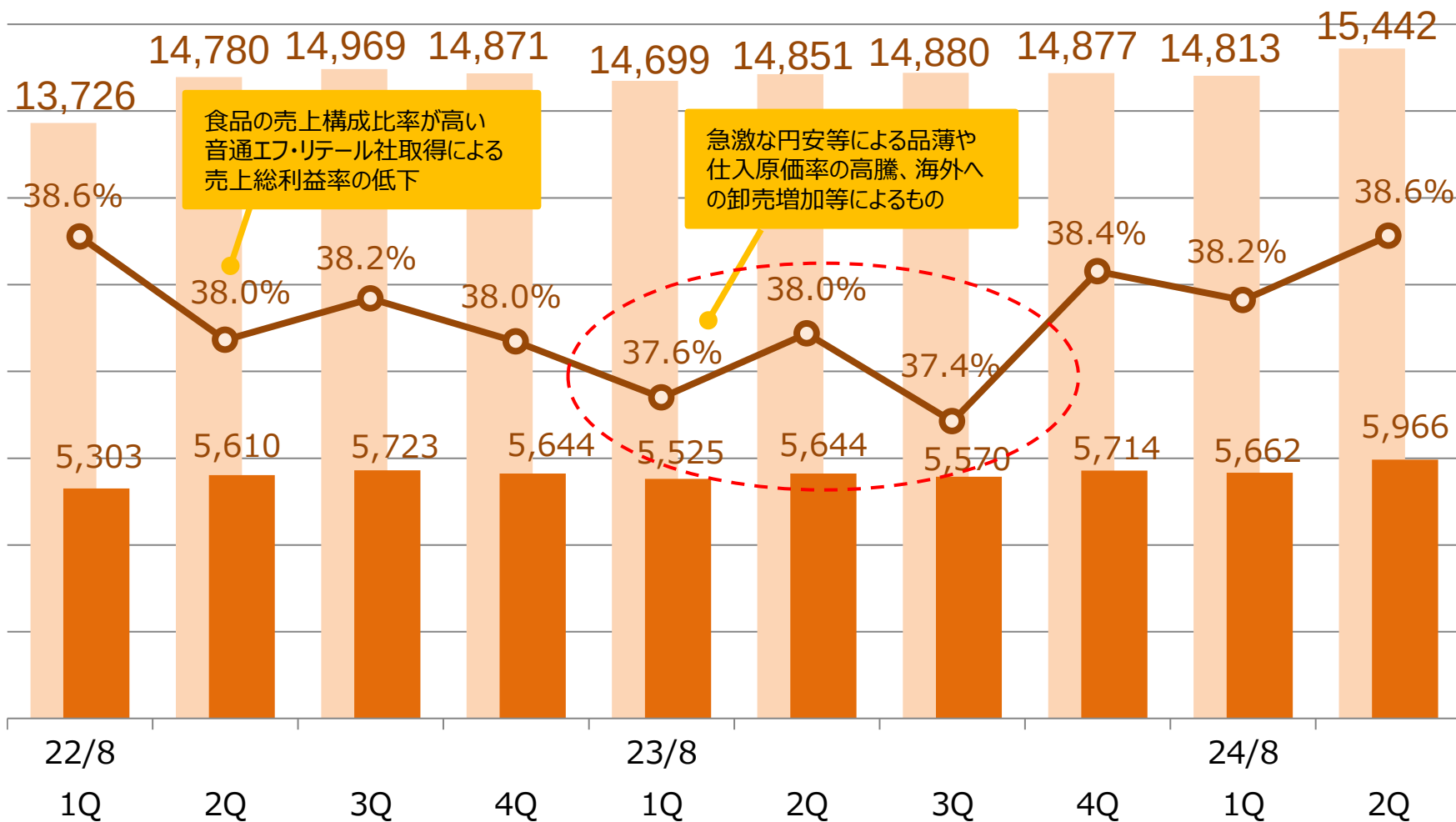
- ✓ 国内100円ショップ事業における連結売上高に占めるシェアは0.5㊦増加（直営0.8㊦増加、卸その他0.3㊦減少）
- ✓ 海外事業の売上高は、COVID-19拡大前の水準を引き続き下回っており、連結売上高に占めるシェアは0.6㊦減少

四半期別売上総利益率の推移



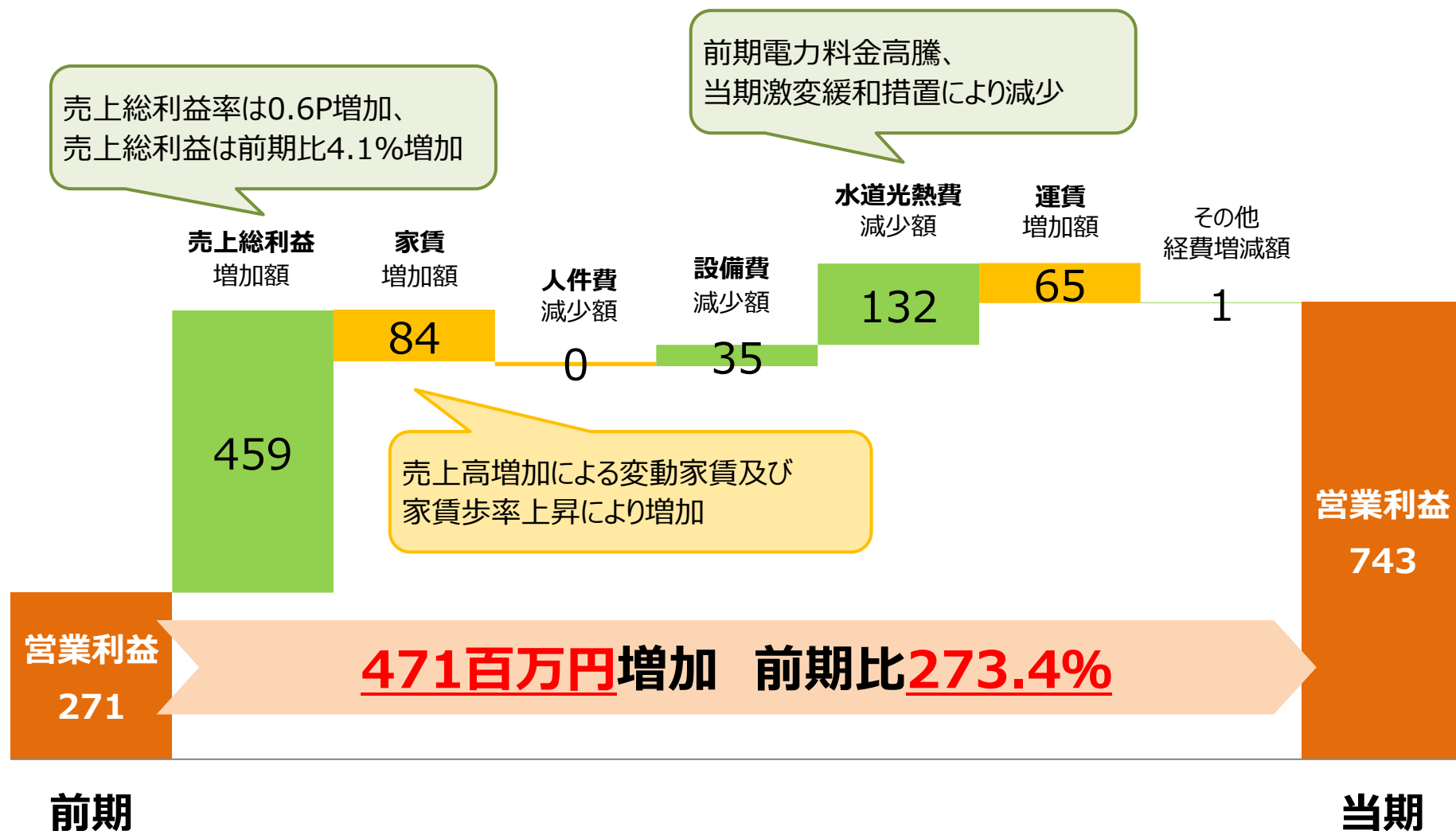
売上高 売上総利益 売上総利益率

(百万円)





(百万円)



(単位：百万円)

連結 貸借対照表	2023年8月期		2024年8月期 第2四半期（当期）	
		増減率		増減率
現金及び預金	5,646	8.4%増	5,996	6.2%増
商品及び製品	9,719	17.5%増	10,416	7.2%増
その他の流動資産	3,553	28.2%増	2,998	15.6%減
有形固定資産	2,011	38.9%増	2,015	0.2%増
その他の固定資産	4,557	30.6%増	4,287	5.9%減
総資産	25,489	20.0%増	25,715	0.9%増
負債	13,524	35.1%増	13,700	1.3%増
純資産	11,964	6.3%増	12,014	0.4%増

- ✓ 自己資本比率は46.7%、前期末から0.2ポイント減少
- ✓ 商品及び製品が696百万円、現金及び預金が350百万円増加
- ✓ その他の流動資産の減少は、主に自己株式取得用の信託銀行への預け金が、自己株式取得時の減少及び取得完了に伴い残金が返却されたことにより、233百万円減少したことによるもの

(単位：百万円)

連結 キャッシュ・フロー	2023年8月期 第2四半期		2024年8月期 第2四半期（当期）	
		増減額		増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	596	△318	630	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425	144	△254	171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220	△221	△40	180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△13	14	18
現金及び現金同等物の期末残高	6,633	109	5,996	△637
フリーキャッシュ・フロー	170	△174	375	205

- ✓ 投資活動によるC/Fは、有形固定資産の取得による支出が90百万円減少
- ✓ 財務活動によるC/Fは、長期借入による収入が300百万円増加
- ✓ フリーC/Fは、205百万円増加

目次



決算概要

2024年8月期の
2 Q連結決算について

P2 – P6

事業別

2024年8月期 2 Qにおける
各事業の状況について P8 – P14

事業計画

2024年8月期業績予想と
各事業の取組みについて P16 – P24

参考資料

ワッツグループについて

P26 – P32



国内100円ショップ事業

	出退店の状況	店舗数：1,803店 （2024年2月末時点） 通期計画（出店160店、退店120店）に対し、 出店87店、退店53店（ 34店純増 ） →P10
	Wattsブランド店舗	出店・改装により88店増加し、 1,335店 100円ショップ全店に占める割合は74.0%

海外事業

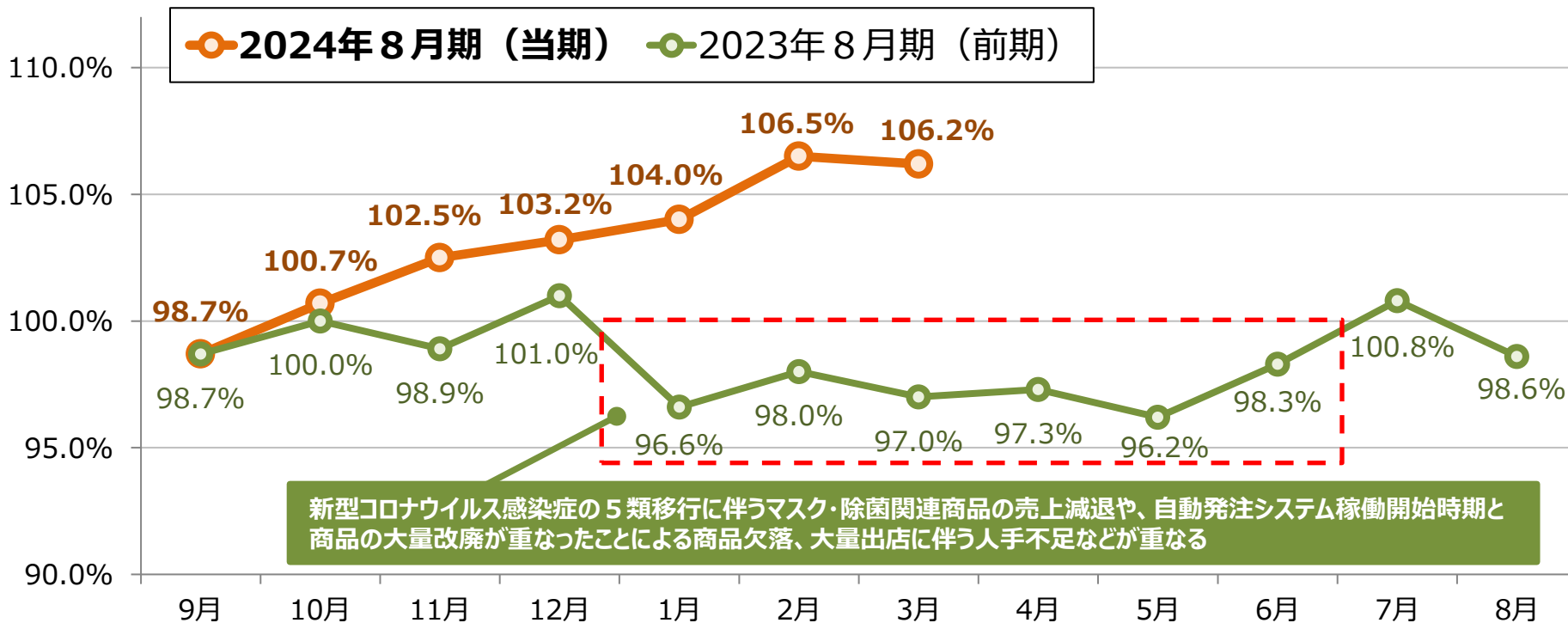
	海外店舗数	当社グループで、当社商品を取り扱う店舗は 31店 （8店減） →P12
--	-------	--

国内その他事業

	Buona Vita (ブォーナ・ビータ)	心地よい生活を提案する雑貨店を 13店 展開、 既存店対前年同期比は104.5%と好調 →P13
	リアル	地域密着型のディスカウントショップ。 6店 展開 100円ショップ事業とのシナジー効果創出を図る →P14

100円ショップ事業の状況①

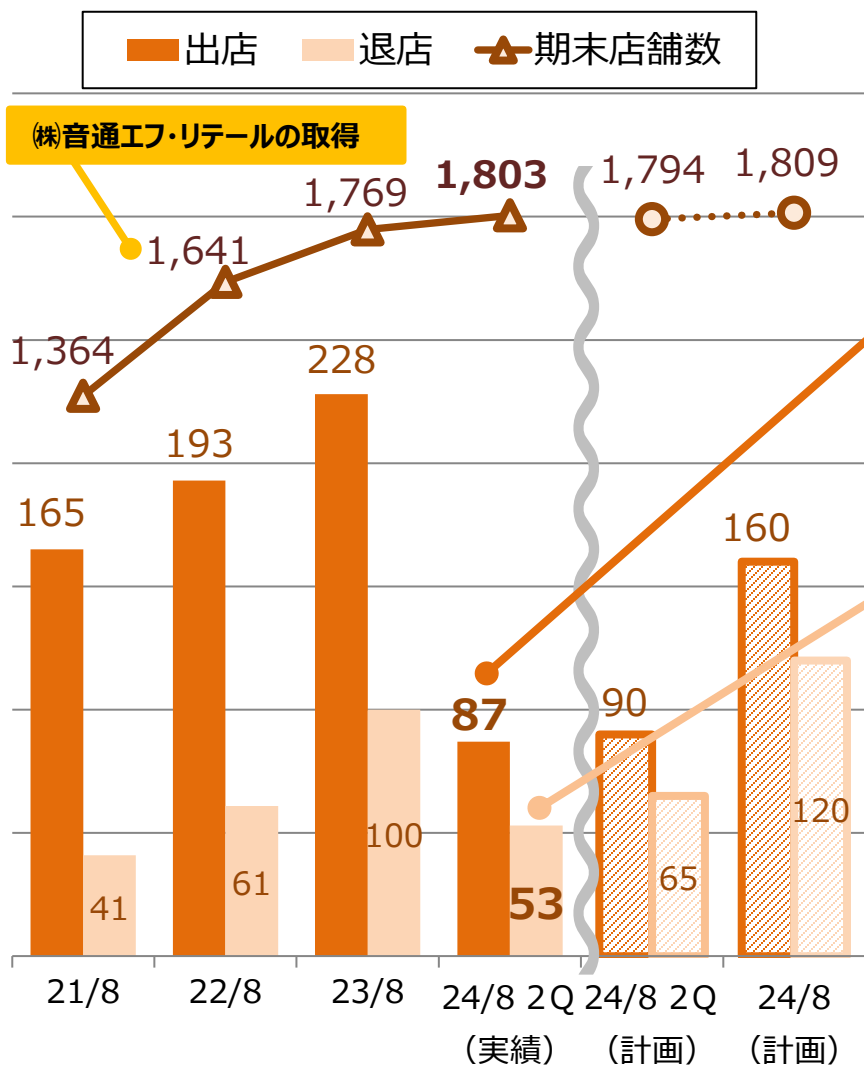
～既存店売上高対前年同月比の推移～



上期累計	売上高	客数	客単価
当期	102.6%	100.3%	102.8%
前年同期	99.0%	97.8%	101.2%

- ✓ 前期における悪化要因は解消し、既存店売上高対前年同期比は102.6%と回復
- ✓ Wattsブランドの対前年同期比は103.6%

100円ショップ事業の状況② ～出退店計画数と店舗数実績～



出退店計画と実績

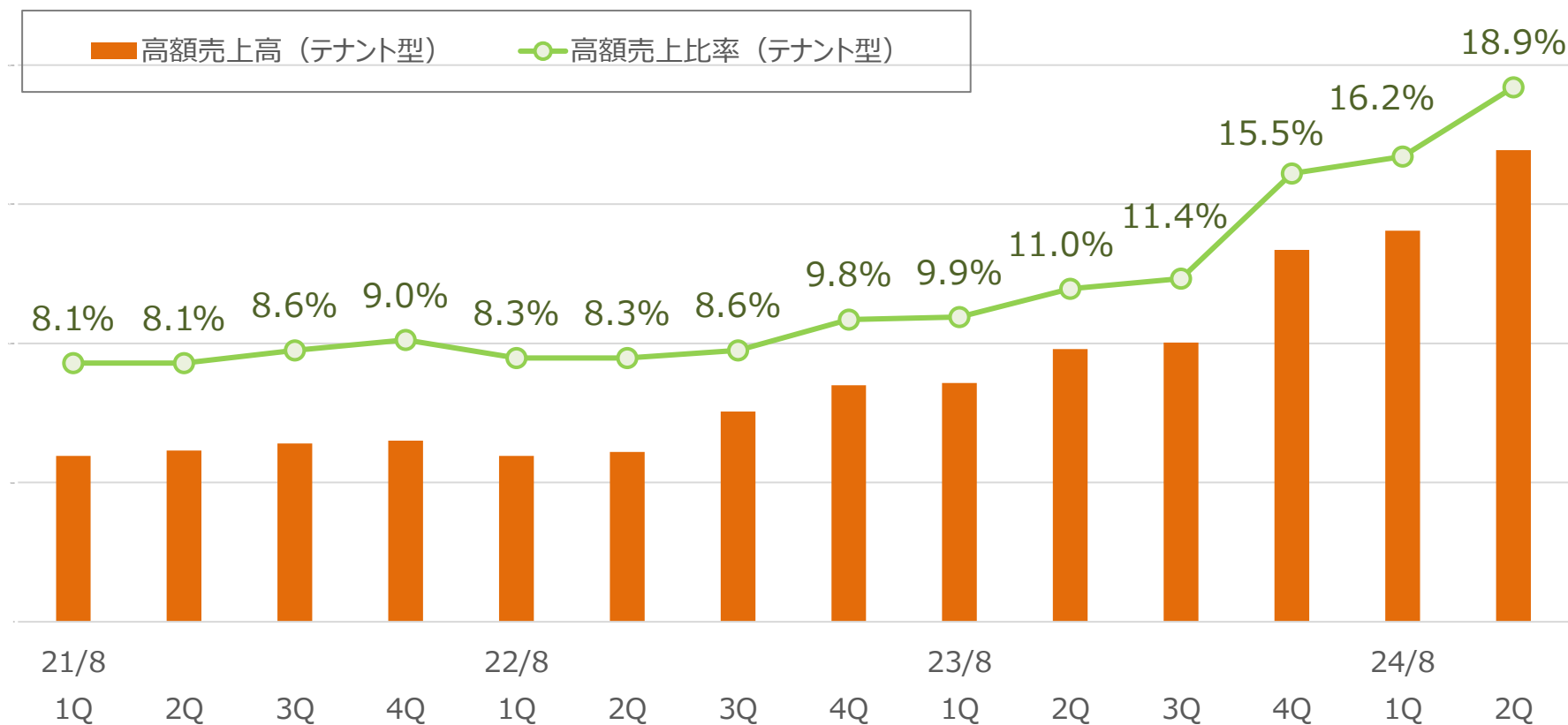
第2四半期
出店計画
90店 → **87店**出店
(通期進捗率54.4%)

第2四半期
退店計画
65店 → **53店**退店
(通期進捗率44.2%)

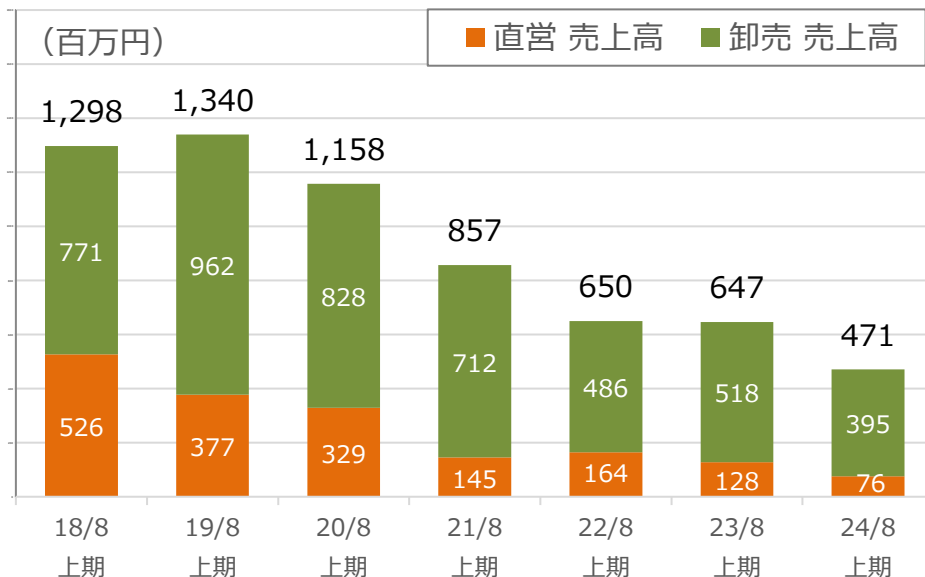
- ✓ 純増計画25店に対し、**純増34店**
- ✓ 出店の内訳は、テナント型7店、委託型80店と出店の中心は委託型
- ✓ 全1,803店の内、Wattsブランド店舗は、1,335店 (88店純増)

100円ショップ事業の状況③

～テナント型店舗の高額売上高と売上シェアの推移～



- ✓ 高額商品数は、足許4,266アイテム
- ✓ 売上高構成比20.0%を目途に、商品を入替えて粗利率の高い高額商品の拡充及び導入を図る



KoMoNoYA
OSAKA JAPAN



国名	出店形態	出店	退店	店舗数 (24/2)
タイ	FC	—	5	20
中国	FC	—	—	4
ペルー	直営	—	3	7
合 計		—	8	31

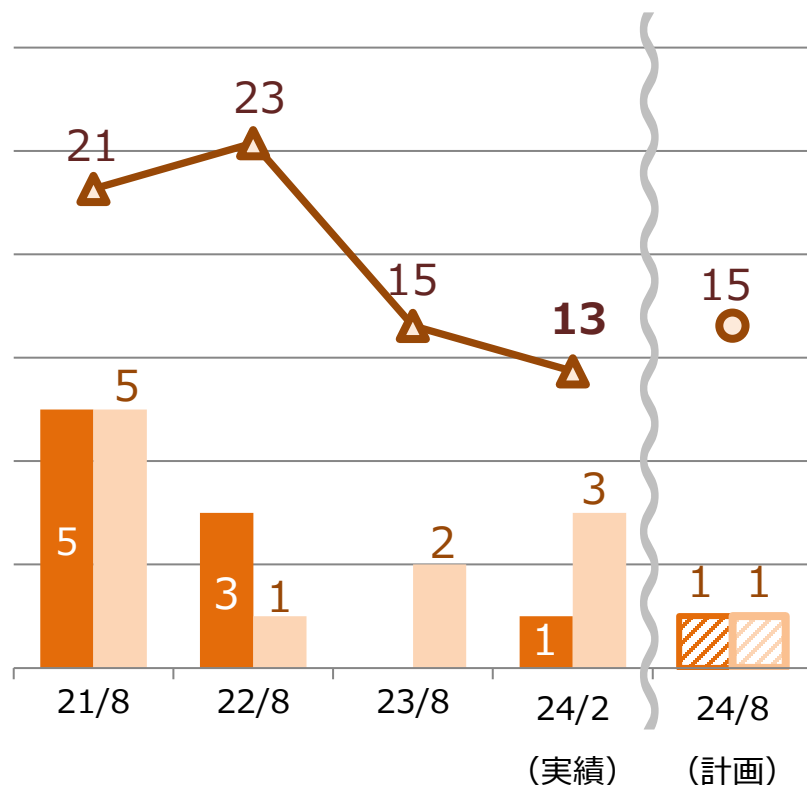


「Watts.up+ セントラルラマ2」(タイ)

- ✓ タイは、20店舗展開（5店舗減）
高額雑貨を中心とした新業態
「Watts.up+」は1店舗展開
- ✓ ペルーは、7店舗展開（3店舗減）
- ✓ 海外向け出荷量がCOVID-19拡大前の水準に戻らず、海外事業として減収

Buona Vita
ブォーナ・ビータ

■ 出店 ■ 退店 ▲ 期末店舗数



ブォーナ・ビータ イオンタウンユーカリが丘店（千葉県）

- ✓ 2022年9月1日付でブォーナ・ビータを営むワッツ・コネクションをワッツ東日本販売へ吸収合併
※当社100円ショップ内への委託販売型6店舗は店舗数から除外
- ✓ 2024年2月末現在、**13店舗**
- ✓ 外出需要増によりウェアやバッグ等の販売が好調に推移し、既存店売上高の対前年同期比は 104.5%



- ✓ 同社の強みである商品調達力を活かして、お買い得な商品を幅広く展開
- ✓ 当社100円ショップとコラボ店舗を運営、事業間のシナジー効果を創出
- ✓ 2024年2月末時点で **6店舗**



- ✓ おうち雑貨店「Tokino:ne（ときのね）」を2店舗展開
- ✓ 朝・昼・夕・夜をゾーンで分け、各時間帯で必要な商品を集めており、お客様それぞれのルーティーンをイメージしながら楽しくショッピングができるように工夫
- ✓ 当社100円ショップ約200店舗でコーナー展開し、シナジー効果を創出

目次



決算概要

2024年8月期の
2 Q連結決算について

P2 – P6

事業別

2024年8月期 2 Qにおける
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

2024年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P16 – P24

参考資料

ワッツグループについて

P26 – P32

2024年8月期業績予想

(2024年3月28日付で業績予想修正を開示)

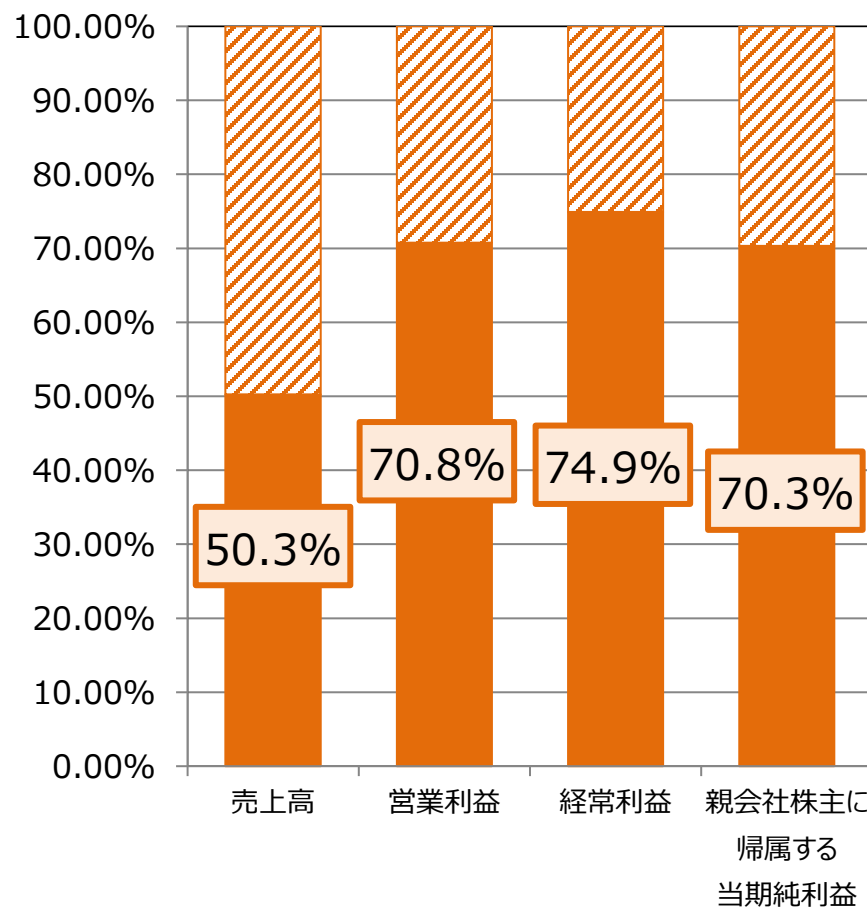


(単位：百万円)

業績予想(修正後)	2024年8月期 (予想)		
		構成比	前期比
売上高	60,200	—	101.5%
営業利益	1,050	1.7%	168.9%
経常利益	1,000	1.7%	154.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	620	1.0%	247.4%
1株当たり当期純利益 (円)	46.77		253.4%

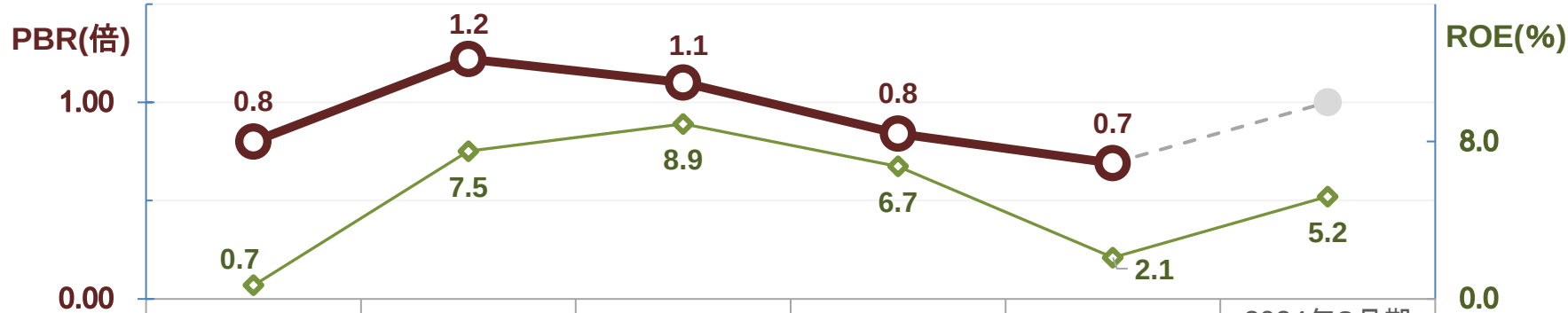
- ✓ 主に100円ショップ事業の売上高が堅調に推移し、増収見込み
- ✓ 雑貨売上高構成比率、100円以外の商品の売上高比率上昇を図る施策等により、売上総利益率が前期を上回る見込みであることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増益見込み

対通期予想進捗率



持続的な価値向上に向けた取組み

～PBR・ROEの推移～



現状分析

【PBR】

5年間の平均値:0.9倍
直近2期連続1倍割れで推移

【ROE】

5年間の平均値:5.1%
株主資本コストを上回る水準

対応

PBR改善

➤ 持続的な企業価値向上に向けた経営の実現

=

ROE改善

➤ 株主資本コストを上回るROEの維持及び向上

×

PER向上

➤ ROEを保った状態でPER向上を図る

持続的な価値向上に向けた取組み

～ROE・PERの改善策～



現状分析/課題

【ROE】 5年間の平均値:5.1%

株主資本コストを上回る水準も
2023年8月期は2.1%と低迷
安定的な10.0%水準を目指す

〔WACC:3~4%
株主資本コスト=4~5%〕

【PER】 5年間の平均値:17.9倍

2023年8月期は33.4倍
利益率悪化が影響し平常期より
高水準になったもの

対応/改善策

➤ 株主資本コストを上回る ROEの維持及び向上

● 財務施策実行

● 株主資本適正化

➤ ROEを保った状態で PER向上を図る

● 株主資本コスト低減

● 成長期待向上

◆ 売上総利益率の改善

・100円以外の価格帯の売上高比率を高める

◆ 営業利益率の改善

・不採算店舗の閉鎖
・委託型中心の出店
・セルフレジ、自動発注システムによる人件費削減

◆ 株主還元と事業投資の両立

・安定配当の継続、自己株式の取得及び消却
・適正な人的投資、成長投資の実施

◆ IR/SRの強化

・株主との対話の促進及び取締役会での共有
・各種説明会の開催
・自社IRサイトの回遊性維持及び向上

◆ PR活動の強化

・ワッツオンラインショップ、ワッツ公式アプリ等による
情報発信の充実



いい商品を安く 売る仕組みづくり の追求を継続

- ✓ ローコスト出退店
- ✓ ローコスト・オペレーション
- ✓ お買い得な実生活雑貨
- ✓ POSシステムの活用と自動発注化への対応強化

100円ショップ事業

他業態とのミックス 店舗の開発・展開

- ✓ 「Watts」「Watts with」出店モデルの一層の深化
- ✓ その他業態を活用したグループシナジーの創出
- ✓ 更なる成長のためのM&Aも検討

進出国ごとの ビジネスモデル確立

- ✓ ウィズコロナ環境下での既存事業の一層の伸長
- ✓ 海外パートナーとの共同事業の構築
- ✓ 既存の経営資源を活かした異業種とのコラボ

海外事業

その他業態

業容の拡大と 収益源の多角化 を図る

- ✓ グループECチャネルの抜本的強化
- ✓ M&Aを含めた、新たな可能性の捕捉



100円ショップ事業の取組み①



高額商品の取扱い



- ✓ 高額商品（100円以外の価格帯商品群）の取扱いにより、商品の充実・売り場の活性化を図る
- ✓ 取扱店舗を委託販売型店舗にも積極的に拡大し、グループ全体の粗利率改善へと繋げる
- ✓ 2024年2月期末4,266アイテム
売上高構成比20%・4,500アイテムを目途に拡充及び導入を進める

コラボ出店

- ✓ ファッション雑貨店「Buona Vita」やおうち雑貨店「Tokino:ne」等のコーナーを展開し、グループ事業間でのシナジー効果創出に取り組む





フレッツ店舗のワッツ化改装

- ✓ レイアウトの変更、雑貨アイテム数の増強を図る
- ✓ 一部の店舗では、雑貨の売上高構成比が上がるとともに、全体の売上高も大きく伸びる等の改装効果が出ている
- ✓ 成功例を横展開することで、大型路面店の収益性改善につなげる





フルセルフレジの導入



- ✓ キャッシュレス決済と現金払いに対応した、フルセルフレジを2024年2月末現在50店舗で稼働（キャッシュレス専用セルフレジを含めると115店舗で稼働）フルセルフレジの導入を進める
- ✓ 精算業務の効率化・省力化により生産性を向上させ、削減した人的リソースをお客様満足度向上へ
- ✓ 会計の待ち時間を減らし、ピーク時の列解消へ（機会損失の減少）

POSデータの活用



- ✓ 滞留商品を削減し、売れ筋商品や新規商品に入れ替えることで売場の商品鮮度を高める
- ✓ POSデータを活用した販売分析を基に、立地や客層に合わせた店舗モデルを確立していく
- ✓ 自動発注システムをテナント型ほぼ全店へ導入し、自動発注率は70%へ伸長。更なる改善により、効率化を進める

100円ショップ事業の取組み④

ワッツオンラインショップ



- ✓ 店舗受け取りの対象店舗を全国展開開始
- ✓ 100円ショップ商品だけでなく、ワッツグループブランドやオンラインショップ限定商品も取扱い

SNSの活用



Instagram



・ワッツ公式YouTubeチャンネル



- ✓ 当社認知度向上のツールとして活用

**KoMoNoYA**
OSAKA JAPAN

【海外事業】

- タイ事業の構造改革、ペルー事業の黒字化施策の展開～不採算店舗の閉鎖、固定費削減等
- 海外店舗の新パッケージ「Watts.up+」の拡大
- 新市場の開拓と既存市場の活性化

Buona Vita
ブォーナ・ビータ

【Buona Vita】

- 新店 1 店舗計画、既存店前年比99.5%
- 100円ショップ内でのコーナー展開のレベルアップ
- POSデータを活用した売場作り



【リアル】

- 新店 1 店舗計画～フレッツ直営店からの切替え
- 100円ショップとのコラボ店舗のブラッシュアップ～100円商材とリアル商品群との効率的な売上比率の確立による粗利率の改善

NIPPAN
ニッパン

【ニッパン】

- 主力定番商品（特に医療機関向け）の在庫を確保及び機会損失の防止

目次



決算概要

2024年8月期の
2 Q連結決算について

P2 – P6

事業別

2024年8月期 2 Qにおける
各事業の状況について

P8 – P14

事業計画

2024年8月期業績予想と
各事業の取組みについて

P16 – P24

参考資料

ワッツグループについて

P26 – P32



国内100円ショップ事業



FLET'S
100 YEN SHOP



百圓領事館

NIPPAN
ニッパ

海外事業

KoMoNoYA
OSAKA JAPAN



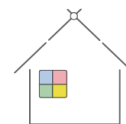
KOMONOYA
OSAKA JAPAN



小物家园
KOMONOKAEN

国内その他業態

Buona Vita
ブォーナ・ビータ



Tokino:ne

スーパーディスカウント

リアル



その他事業の概要



2024年2月末現在、13店舗

心地よい生活を
提案する雑貨店
「ブォーナ・ビータ」



時間をテーマにしたおうち
雑貨店「Tokino:ne」
2店舗展開



100円ショップと食品スーパーの
コラボ店舗



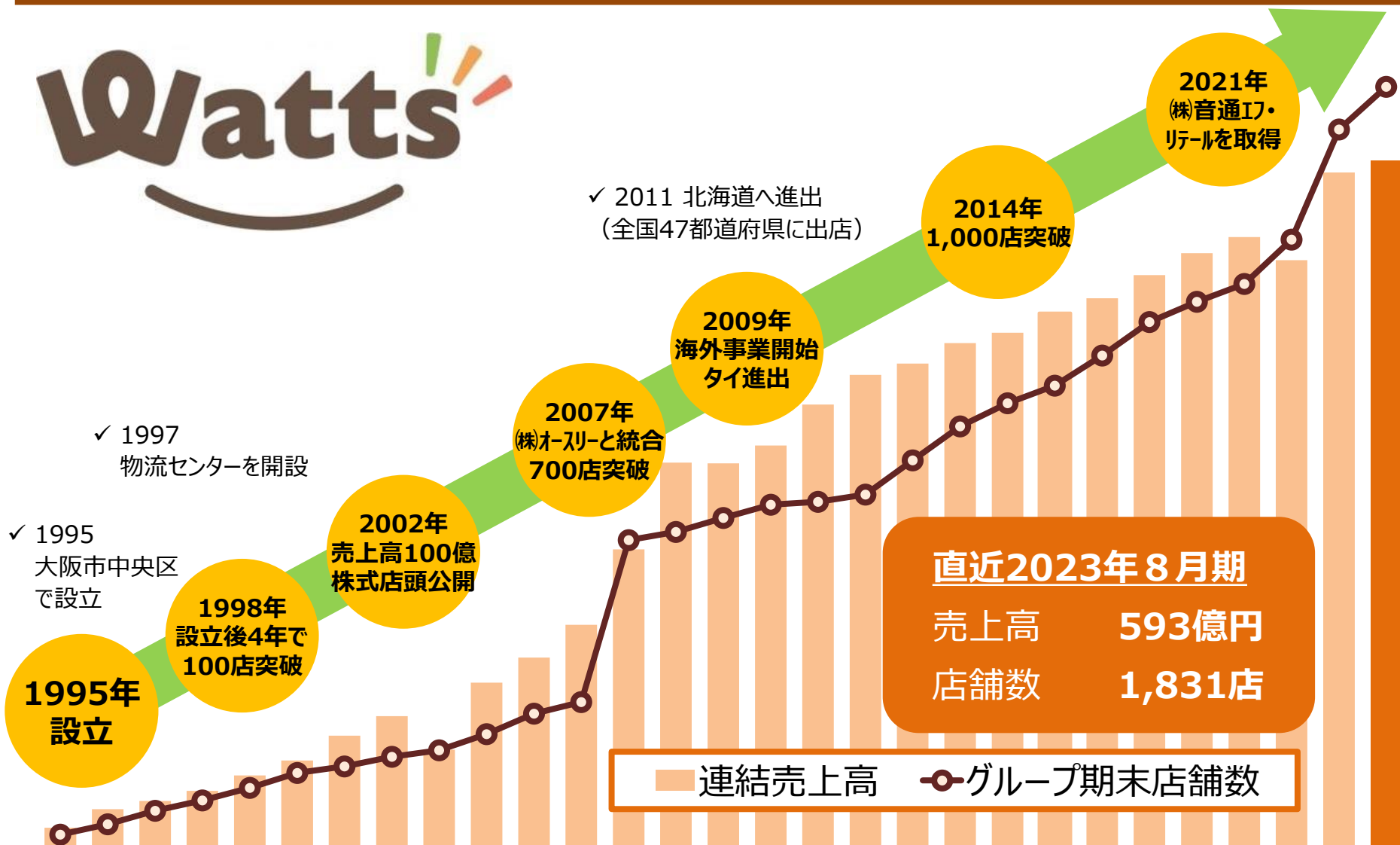
スーパーディスカウント

リアル

地域密着の小型
ディスカウントショップ。
2024年2月末現在、
6店舗



設立	1995年2月22日（現在は、第30期）	
社名の由来	おもろいことを「ワッ」とやろう！	
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード： 2735)	
資本金	4億4,029万円	
本社所在地	大阪府中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5階	
主な業務	日用品・雑貨の卸小売業 (主に 100円ショップの運営)	
グループ従業員数	3,431名（2024/2/29現在）	※パート・アルバイトを含む
グループ店舗数	1,856店（2024/2/29現在）	※その他店舗を含む



サステナビリティ/ESGの取組み

環境に関する取組み

- ✓ 環境に配慮した再生素材を原料にしたサステナブル商品の開発



ガバナンス

- ✓ 「サステナビリティ委員会」を設置。代表取締役社長が委員長を務め、意思判断、取締役会への報告プロセスを円滑化し、気候関連課題の経営への統合を図りやすい体制を整備

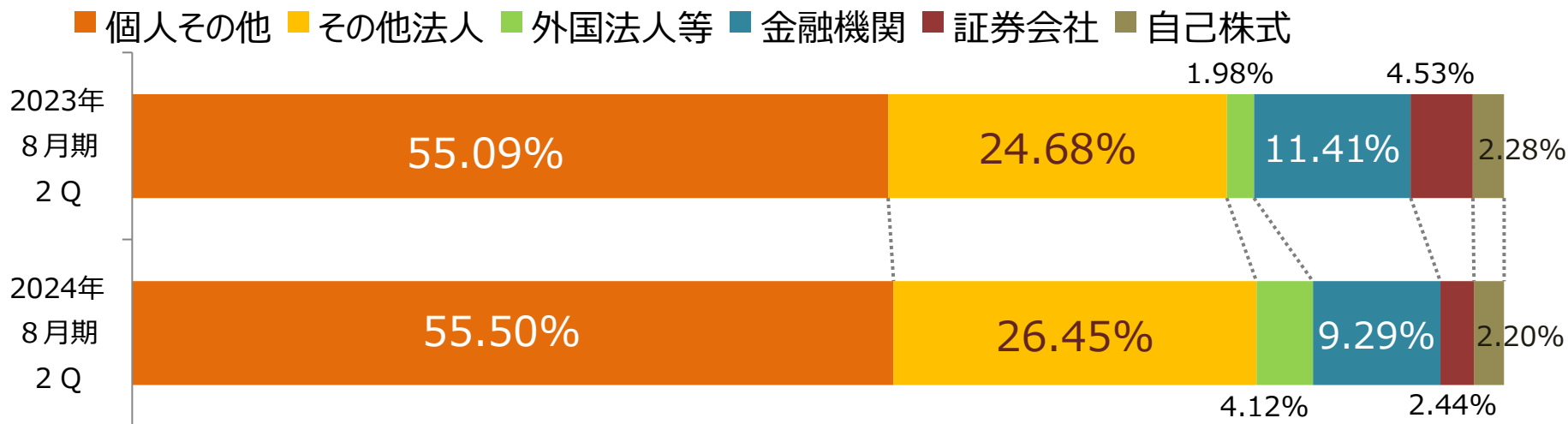
人材に関する取組み

- ✓ 【ダイバーシティ】
性別・国籍等を問わず、本人の能力や適性に基づいた人材の登用、多様性の確保を進める。
女性管理職比率は9.9%（2023年8月期）
- ✓ 【ワーク・ライフ・バランス】
有給休暇、男性の育児休暇取得等を推奨し、働きやすい職場環境を作る
- ✓ 独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドへ投資（第72回日本学生支援債券）

ソーシャルボンドとは

社会的課題の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券

株主構成



	2022年 8月期 第2四半期	2023年 8月期 第2四半期	2024年 8月期 第2四半期	前年 同期末比
発行済株式総数	13,898,800株	13,898,800株	13,458,800株	△440,000株
株主数	17,572名	18,897名	15,604名	△3,293名
個人その他	51.34%	55.09%	55.50%	+0.41㊦
その他法人	24.60%	24.68%	26.45%	+1.77㊦
外国法人等	3.78%	1.98%	4.12%	+2.14㊦
金融機関	14.01%	11.41%	9.29%	△2.12㊦
証券会社	3.94%	4.53%	2.44%	△2.10㊦
自己株式	2.32%	2.28%	2.20%	△0.08㊦

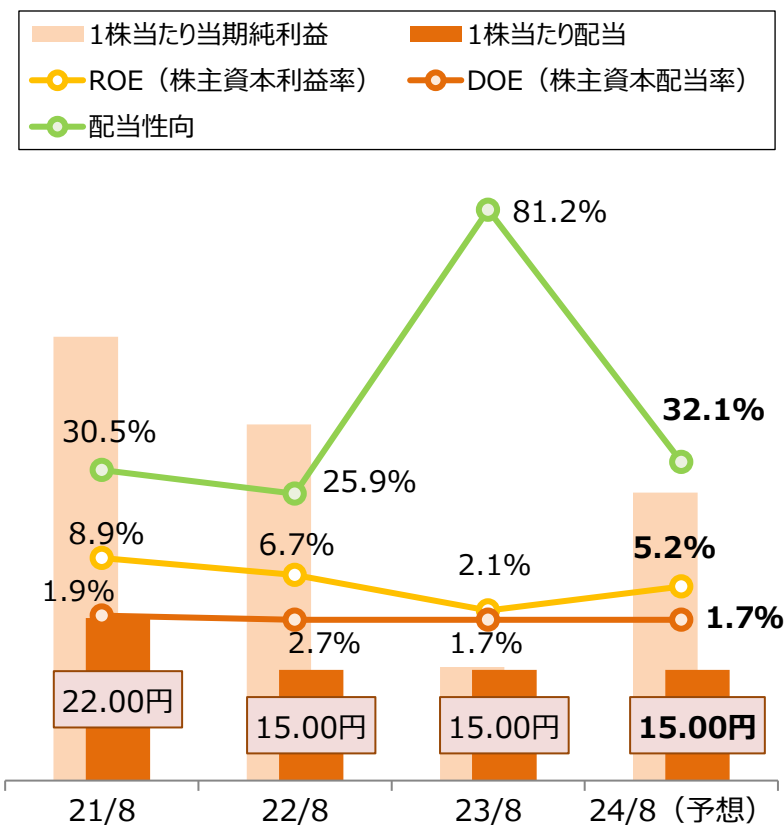
✓ 自己株式消却により、発行済株式総数が440,000株減少

✓ 株主数は、前年同期末から3,293名減少（外国法人等所有比率が2.14㊦増加）

（注）小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。



ワッツは、「**安定した配当を継続して行う**」ことが、株主の皆様への利益還元であると考えています。



	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期 (予想)
1株当たり当期純利益	72.09円	57.83円	18.46円	46.77円
1株当たり配当金	22.00円	15.00円	15.00円	15.00円
配当性向	30.5%	25.9%	81.2%	32.1%
配当利回り	2.5%	2.1%	2.4%	2.4%
ROE (株主資本利益率)	8.9%	6.7%	2.1%	5.2%
DOE (株主資本配当率)	2.7%	1.8%	1.7%	1.7%

※各事業年度の配当利回りは決算基準日の株価で算出
(2024年8月期配当利回りは2月29日の株価で算出)



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 常務取締役経営企画室長 森 秀人

e-mail：ir@watts-jp.com

TEL： 06-4792-3280